

循環型の持続可能な産業サイクルを、公共交通産業から推進していく



南信州広域タクシー有限公司



Company profile 概要



所在地 : 長野県飯田市上殿岡717-4

代表者 : 代表取締役社長 鈴木 佳史

資本金 : 800万円

業務内容 : 一般乗用旅客自動車運送業(タクシー)
: 一般乗合旅客自動車運送業(乗合タクシー)
: 一般貸切旅客自動車運送業(バス)
: 貨物自動車運送業(霊きゅう限定)

社員数 : 85名

車両数 : タクシー 59両
: 小型バス 11両
: 霊きゅう車 1両





Background 背景



現代、環境汚染や地球温暖化によって気候が大きく変化するなか、日本におけるCO2排出量のうち、18.5%を占める運輸業界は、その部分を重要視し、2050年カーボンニュートラルの達成に向けた行動を、会社一丸となって取り組む必要があると考えております。



Activity 教育

エコドライブ運転を実施し、燃費の改善を図る

エコドライブ運転の教育

目標数値の設定

数値結果を公表

燃費改善結果からの表彰

乗務員ミーティング

乗務前点呼・乗務後点呼



地球と走ろう
環境にやさしいエコドライブで

- 1 ふんわりアクセル「Eスタート」**
やさしい発進を心がけましょう。
普通の発進より少し遅やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安です）だけで11%燃費改善が図れます。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気持ちで運転しましょう。
- 2 加減速の少ない運転**
車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。
車間距離に余裕をもつことが大切です。車線変更を避けたり、速度にふらふらする走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。
- 3 早めのアクセルオフ**
エンジンブレーキを積極的に使いましょう。
エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が決ったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る際にはエンジンブレーキを活用しましょう。
- 4 エアコンの使用を控えめに**
車内を冷やし過ぎないようにしましょう。
炎暑条件に応じて、こまめに換気・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、1.2%燃費改善が図れます。
- 5 アイドリングストップ**
無用のアイドリングをやめましょう。
10分間のアイドリング（ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費します。待ち合わせや前乗の積み下ろしのための駐車の際はアイドリングを止めましょう。
- 6 暖機運転は適切に**
エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。
現在販売されているガソリン乗用車においては暖機不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより車行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を消費しますので、全体の燃料消費量は増加します。
- 7 道路交通情報の活用**
出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。
1時間のドライブで、遅くとも10分余裕で走行すると14%程度の燃費改善に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをおらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。
- 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック**
タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備をしましょう。
タイヤの空気圧が適正値より50kPa (0.5kg/cm²) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。
- 9 不要な荷物は積まずに走行**
不要な荷物を積まないようにしましょう。
100kgの不要な荷物を積むと、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。重さが必要な荷物は、車から下ろしましょう。
- 10 駐車場所に注意**
渋滞などをまねくことから、選定駐車はやりましょう。
交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。平均速度が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると算出されています。

エコドライブ 10のすすめ

地球と走ろう
エコドライブ

エコドライブ普及推進協議会
事務局 交通エコロジー・モビリティ財団





Activity 環境にやさしい車両に

EV車・HV車に積極的代替

タクシー車両の100%

次世代自動車(EV車・PHV車)の導入

車齢4.81年(県内1位)



Activity 環境にやさしい車両に

EV車・HV車に積極的代替

PRIUS PHEV



NISSAN LEAF



JPN TAXI



Sienta HV



NISSAN SAKURA



VELLFIRE





Activity 3社連携によるゼロエミッションタクシー

電気を作る・充電する・活用する すべてにおいてCO2 排出ゼロ



おひさま進歩エネルギー株式会社

証明書番号: 0000000015692

トッキング付非化石証書 種別確定済高証明書 (電力販売分)
Non-fossil fuel certificate(NFC) with tracking (Electricity product)

Pass Code:43419525
<https://www.sungy-ent-fcom/wfa/#/info>
<https://www.sungy-ent-fcom/wfa/#/info>

種別	発行日	有効期限	発行元	種別	発行日	有効期限	発行元	種別	発行日	有効期限	発行元
1	AD9847C0	FIT	太陽光	長野県田代町大字3-3-4	長野県田代町大字3-3-4 ひだろー	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30
2	A6248BC0	FIT	太陽光	長野県田代町大字7-1-4	アップルキャブ 有限会社	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30
3	A6248BC0	FIT	太陽光	長野県田代町大字7-1-4	アップルキャブ 有限会社	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30	2023/06/30

全国初

非化石証書 運行開始

ゼロエミッション



アップルキャブ 南信州広域タクシー 有限会社

アップルキャブ



Activity 乗合タクシー全路線を脱炭素化 調印式・出発式





Activity 災害対策

災害時のライフラインの確保(電力の供給)
CO2排出ゼロのゼロエミッションタクシーを蓄電池として活用

外部給電器

Power Mover



V2H EVからお家へ電力供給



太陽光で発電した電気でEVに充電 & EVの電気を宅内に給電

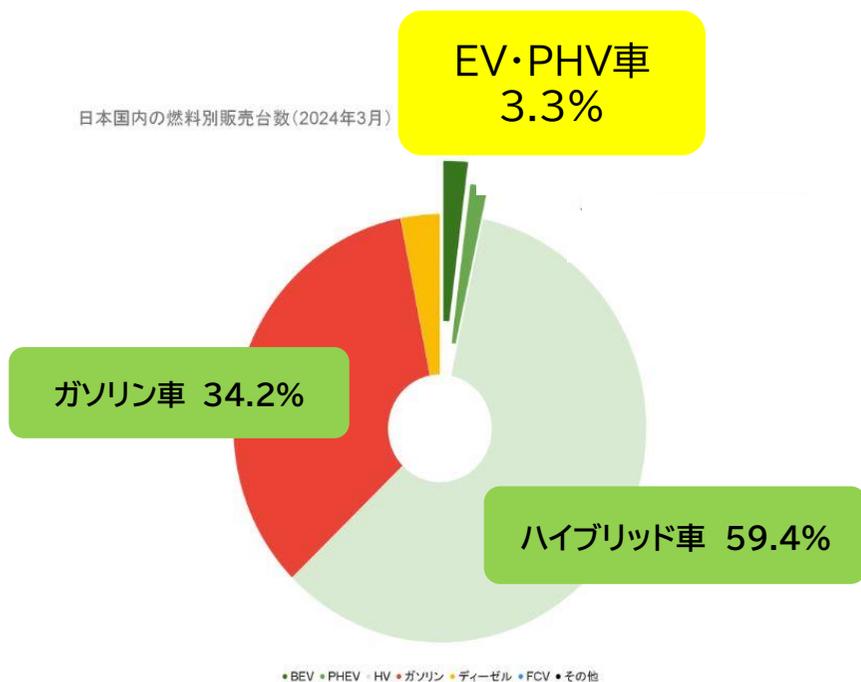
大規模停電などの災害時にCO2排出ゼロの電力で、ライフライン確保に協働させていただきます。



Problem 問題

国内におけるEV車両の導入率 3.6% 世界ランキング40位

日本国内の燃料別販売台数(2024年3月)



自動車のゼロエミッション化が進まない要因は、

- ① 車両価格が一般車両と比べると割高である。
- ② 充電施設の普及が進んでいない。
- ③ 運行時の電欠対応が不安である。

日本政府は「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%」目標

長野県は2030年までに1家に1台EV車・企業の社用車等もEV車に



Activity

次世代自動車導入促進のため

営業車等をEV化に推進する企業様などに、インフラ施設を提供する。



24時間365日
急速充電器を無償提供

長野県内、初導入



電欠時駆けつけサービス





Activity 次世代自動車導入促進のため

営業車等をEV化に推進する企業様などに、インフラ施設を提供する協定を締結



阿智村様



飯田信用金庫様



Attempt 今年度の取組

日本1星のきれいな村 阿智村にてゼロエミッションタクシーを運行させたい・・・



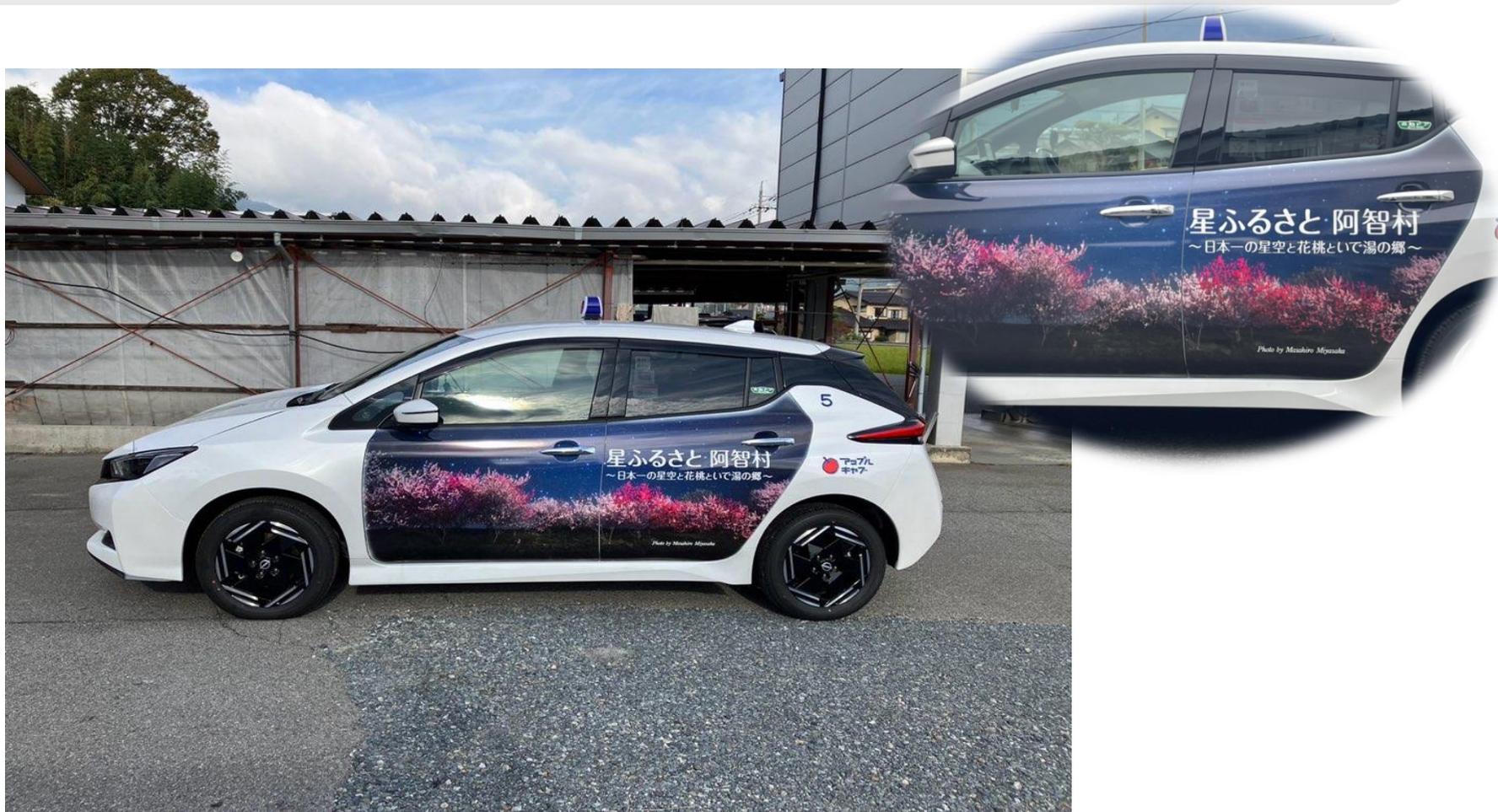
阿智営業所の屋根に太陽光パネルを設置

災害対策にV2H充放電器を設置



Attempt 今年度の取組

日本1星のきれいな村 阿智村にてゼロエミッションタクシーを運行させたい・・・



阿智村観光PR ゼロエミッションタクシーを運行開始



Thought 我々の思い

エネルギーの地産・地消を目指し、長野県のゼロカーボン戦略に賛同し、

飯田市の「いいだ ゼロカーボン宣言」に協働して参ります。

また私たちの郷土、長野県、そして飯田市から私たちの情報を発信し続け、

CO₂を排出し営業活動を行う、すべての公共交通事業者の先導役となって参ります。

ご清聴ありがとうございました。